

診療所看護師の災害の備え支援に関する実態－難病指定診療所の全国調査－

宇田優子¹⁾、石塚敏子¹⁾、稲垣千文¹⁾

1) 新潟医療福祉大学 看護学部 看護学科

【背景・目的】 近年の日本は、2018年7月豪雨（死者・行方不明者 245人）、2019年台風19号（同 101人）、2020年7月九州豪雨（同 86人）と自然災害が毎年発生している。災害時要配慮者に該当する可能性の高い神経難病であるパーキンソン病患者は、先行研究で（は）【日々の生活も災害時も考えた備え】を行い、「災害があっても生き延びたい」と【あきらめない】姿勢を有する¹⁾場合もあるが、災害時は「逃げない」と意思表示する療養者²⁾も存在する。在宅療養者が災害への備えをするきっかけには、身近な支援者からの働きかけが有効と言われている。

本研究は診療所看護師による災害への備え支援は実施可能か、困難な場合はその要因は何かを探索することを目的に実態調査を行った。

【方法】 2020年2月に自記式郵送調査を難病指定医療機関で神経内科を有する診療所 2,104 か所中 50%の 1,052 施設の看護職に依頼。項目は回答者の属性、自然災害被災の有無、災害への備え指導に関する 17 項目である。分析は SPSS Ver25 を使用した。新潟医療福祉大学倫理委員会の承認を受け、関連する利益相反はない。

【結果】 返信 174（回収率 15.6%）中、有効回答 164（有効回答率 94.2%）。主な結果は表 1 の通りである。

【考察】 災害への備え支援を「行っている＋過去に行ったことがある」診療所は 35.5%であった。病院を対象に行った同様の調査結果 10.9%（回収率 21.2%）³⁾と比較すると高い結果であった。更に未実施診療所においても「とても必要＋必要」58.7%との回答であった。地域包括

ケアにおいて診療所看護職は、高齢者や在宅療養者の身近な存在として健康面の相談支援が期待されている。神経難病患者を対象に含む診療所での災害への備えとして、看護職が支援を実施できる可能性は高いと考える。

【結論】 全国の対象 164 診療所のうち、43 か所（35.5%）で災害備え支援が実施されていた。

【文献】

- 1) 石塚敏子,宇田優子,稲垣千文ら:在宅パーキンソン病者の災害に対する備えとその経緯,日本災害看護学会誌,21(3):30-41.
- 2) 宇田優子,石塚敏子,稲垣千文ら:災害時は「逃げない」と意思表示する高齢神経難病患者の言葉の背景 -1 事例の SCAT による分析-,新潟医療福祉学会誌,19(3):22-29.
- 3) 宇田優子,稲垣千文,石塚敏子ら:外来看護部門で災害の備え指導は可能か -神経内科外来への全国調査-,日本難病看護学会誌,24(3):261-269.

表 1 診療所の災害備え指導の実態と未実施理由及び今後の必要性				n=164	
項目	選択肢	回答数	%		
診療所での災害備え指導実施状況	行っている	27	16.5		
	過去に行っていた、行ったことがある	16	9.8		
	行ったことは無い	121	73.7		
災害備え指導を「行っている」＋「過去に行っていた、行ったことがある」＝有（n=43）の内容					
備え指導の頻度	時期を決めている	2	4.7		
	決めていない	10	23.3		
	個別療養相談時に実施	29	67.4		
	その他	2	4.7		
備え指導の対象者（n=43）（複数回答のため合計は100%を超える）	医療機器（酸素、カテーテル、自己注射等）利用患者	21	48.8		
	ステロイド、抗パーキンソン病薬等注意薬剤使用患者	19	44.1		
	独居または高齢者夫婦世帯の高齢患者	17	39.5		
	歩行等ADLで介助を要する患者や家族	9	20.9		
	全ての通院患者や家族	8	18.6		
	その他	4	9.3		
備え指導の内容（n=43）（複数回答のため合計は100%を超える）	薬の備蓄に関すること	30	69.8		
	停電に備えた医療機器の充電・予備電源について	26	60.4		
	災害発生時に疾病治療上必要時に病院への連絡方法	14	32.6		
	家屋内の安全対策について	11	25.6		
	避難方法や避難支援者の確保	8	18.6		
	日用品（水、食料、衣類等）の備蓄について	7	16.3		
	医療用具（ストマ物品等）の備蓄に関すること	7	16.3		
備え指導の方法（n=43）（複数回答のため合計は100%を超える）	口頭説明	40	93.0		
	自治体等の既成パンフレット使用	8	18.6		
	病院作成パンフレット使用	3	7.0		
	その他	3	7.0		
災害備え指導を「行ったことは無い」病院の未実施理由と必要性（n=121）					
災害備え指導を未実施の理由（n=121）の内容（複数回答のため合計は100%を超える）	今まで検討したことや考えたことは無い	68	56.2		
	患者からの要望が無い	54	44.6		
	災害の備えについて、患者への指導内容がわからない	39	32.2		
	病院のある地域は災害が少ない	32	26.4		
	防災制度の知識が無い	31	25.6		
	看護スタッフが不足	28	23.1		
	通院患者数が多い	23	19.0		
	行政や地域の民生委員等が行っている	16	13.2		
	退院時に病院が実施	5	4.1		
	その他	7	5.8		
外来において、災害備え指導を看護師からの働きかけの必要性（n=121）					
	とても必要	28	23.1		
	やや必要	43	35.5		
	どちらともいえない	43	35.5		
	あまり必要ではない	10	8.3		
	全く必要ではない	0	0.0		